

2023 年度畑作・草地飼料関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2023 年度畑作・草地飼料関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2023 年 12 月 6 日(水)～7 日(木)に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 51 名、委託関係者 59 名

ほか、計 128 名の参集を得て、畑作関係除草剤 23 薬剤 (71 点)、生育調節剤 4 薬剤 (21 点)、草地飼料関係除草剤 3 薬剤 (5 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果については、次の表に示す通りである。

2023 年度畑作・草地飼料関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. A-1114 水和 (旧プロメトリン) プロメトリン:50.0% [夕張ツムラ, 日本化薬, ホクサン]	せんきゅう	発生前の一年生雑草を対象にしたせんきゅう植付後の土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:初年目)	実・継	実) [一年生広葉雑草] ・植付後, 雑草発生前 ・100~200g <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全域 継) ・効果・薬害の確認(一年生イネ科雑草)
2. BAH-2210 液 グルホシネートPアンモニウム塩:18.7% [BASFジャパン]	大豆	生育期の一年生雑草を対象とした大豆生育期の茎葉処理(畦間・株間)による適用性の検討(初年目:全域)	継	継) ・効果・薬害の確認
3. BAH-2215 乳 シンメチリン:5.0% ペンディメタリン:20.0% [BASFジャパン]	小麦 (春播)	小麦(春播)における発生前の一年生雑草を対象とした播種後出芽前での土壌処理(全面)による作用性の検討(北海道:初年目)	—	(作用性)
	小麦 (春播)	小麦(春播)における発生前から始期の一年生雑草を対象とした小麦出芽揃いでの土壌処理(全面)による作用性の検討(北海道:初年目)		
	小麦 (春播)	小麦(春播)における1葉期までの一年生雑草を対象とした小麦1~3葉期での土壌処理(全面)による作用性の検討(北海道:初年目)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
4. BCH-181 フロアブル チエンカルバジンメチ ル:2.9% ホラムスルフロン:4.8% [バイエルクロップサイ エンス]	てんさい (ALS阻害 剤耐性) (直播)	ALS阻害剤耐性てんさい栽培(直播)に おける, 発生前~本葉2葉期の一年生 雑草を対象としたてんさい子葉期以 降の茎葉兼土壌処理(全面)による適 用性の検討(北海道:2年目, 散布水量 拡大(100L))	実	実) [一年生雑草] ・てんさい子葉期以降, 雑草発生始期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 ・てんさい子葉期以降, 広葉雑草1~2葉期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 ・てんさい子葉期以降, 広葉雑草3~4葉期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 注) ・低薬量, 高水量ではシロザに対する効果が劣る 場合がある ・散布水量25~50L/10aの場合は専用ノズルを使用 する。
	てんさい (ALS阻害 剤耐性) (移植)	ALS阻害剤耐性てんさい栽培(移植)に おける, 発生前~本葉2葉期の一年生 雑草を対象とした茎葉兼土壌処理(全 面)による適用性の検討(北海道:2年 目, 散布水量拡大(100L))	実	実) [一年生雑草] ・てんさい移植後, 雑草発生始期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 ・てんさい移植後, 広葉雑草1~2葉期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 ・てんさい移植後, 広葉雑草3~4葉期 ・50~100mL <散布水量25~100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 注) ・散布水量25~50L/10aの場合は専用ノズルを使用 する。
5. CG-119α 乳 S-メトラクロール:83.7% [シンジェンタジャパン]	そば	そばの播種後出芽前での土壌処理(全 面)による効果・薬害の検討(作用性)	—	(作用性)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
6. CG-123α フロアブル アトラジン:27.8% S-メトラクロール:26.4% [シンジェンタジャパン]	とうもろ こし (飼料用)	一年生雑草を対象としたとうもろこし出芽直前～出芽揃での土壌処理(全面)による適用性の検討(処理時期拡大2年目)	実・継	<p>実)</p> <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後出芽前, 雑草発生前 ・140～200mL <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・北海道 <ul style="list-style-type: none"> ・播種後出芽前, 雑草発生前 ・140～260mL <散布水量100～150L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・東北以南 <ul style="list-style-type: none"> ・とうもろこし2～4葉期 ・140～200mL <散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・北海道
	とうもろ こし (飼料用)	一年生雑草を対象としたとうもろこし2～4葉期での茎葉処理(全面)による適用性の検討(散布水量70～150L/10aへの拡大2年目)		<ul style="list-style-type: none"> ・とうもろこし2～4葉期 ・140～260mL <散布水量100L>/10a, 260mL <散布水量70～100L/10a> ・茎葉処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・東北以南 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネ科雑草の多発圃場ではイネ科雑草の2葉期までに使用する。 <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果薬害の確認(とうもろこし出芽直前～出芽揃) ・水量70L/10a, 150L/10aでの効果・薬害の確認(とうもろこし2～4葉期, 薬量140mL) ・水量150L/10aでの効果・薬害の確認(とうもろこし2～4葉期, 薬量260mL)
7. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	大豆	耕起または播種前の茎葉処理(全面)における生育期(草丈1m以下)のアレチウリに対する効果および薬害の検討(未確認草種への除草効果および処理時期の検討)	実・継	<p>実)</p> <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆播種前10～14日 ・300～500mL <散布水量100～150L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・東北以南 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草の生育量に応じて薬量を増減する ・播種後土壌処理剤との体系処理をする <ul style="list-style-type: none"> ・大豆播種後出芽前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300～500mL <散布水量100～150L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・東北以南(九州を除く) <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の発芽開始後は, 薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
7. Hoe-866 液 つづき	大豆	生育期の一年生雑草を対象とした, 大豆収穫前, 大豆落葉終期(落葉率90%程度)の茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:3年目)		<ul style="list-style-type: none"> ・大豆生育期, 雑草生育期 ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) ・全土壌 ・全域 注) <ul style="list-style-type: none"> ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する <ul style="list-style-type: none"> ・大豆生育期(本葉5葉以降), 雑草生育期(草丈20cm以下) ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間・株間) ・全土壌 ・全域 注) <ul style="list-style-type: none"> ・専用ノズルを使用する ・噴口はできるだけ低くし, 本葉にかからないように散布する 継) <ul style="list-style-type: none"> ・低薬量での効果・薬害の確認(播種後出芽前) ・効果・薬害の確認(播種後出芽前, 北海道, 九州) ・アレチウリに対する効果・薬害の確認(大豆播種10~14日前) ・効果・薬害の確認(大豆落葉終期)
	とうもろこし (飼料用)	生育期の一年生雑草を対象とした, とうもろこし生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(北海道:適用性2年目)	実・継	実) [一年生雑草] <ul style="list-style-type: none"> ・耕起または播種前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・東北以南 <ul style="list-style-type: none"> ・とうもろこし生育期, 雑草生育期 ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) ・全土壌 ・東北以南 注) <ul style="list-style-type: none"> ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で使用 継) <ul style="list-style-type: none"> ・効果・薬害の年次変動の確認(耕起または播種前) ・効果・薬害の確認(畦間処理, 北海道)
	とうもろこし (食用)	生育期の一年生雑草を対象とした, とうもろこし生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(北海道:適用性2年目)	実・継	実) [一年生雑草] <ul style="list-style-type: none"> ・耕起または播種前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・東北以南 <ul style="list-style-type: none"> ・とうもろこし生育期, 雑草生育期 ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) ・全土壌 ・全域 注) <ul style="list-style-type: none"> ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で使用 継) <ul style="list-style-type: none"> ・効果・薬害の年次変動の確認(耕起または播種前)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
7. Hoe-866 液 つづき	ひまわり (種子)	生育期の一年生雑草を対象とした、ひまわり生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(北海道:適用性2年目)	実	<p>実)</p> <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕起または播種前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・東北以南 <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり生育期, 雑草生育期 ・300~500mL <散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) ・全土壌 ・全域 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈20cm以下で使用
8. HSW-062 フロアブル インダノファン:10.0% ジフルフェニカン:4.0% [ホクサン]	小麦 (春播)	発生前の一年生雑草を対象とした小麦(春播)の播種後出芽前での適用性の検討(北海道:適用性3年目)	実・継	<p>実)</p> <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後出芽前, 雑草発生前 ・250mL <散布水量70L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・北海道 <ul style="list-style-type: none"> ・小麦1~3葉期, 雑草発生始期 ・200mL <散布水量70~100L>/10a ・茎葉兼土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・北海道 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一過性の白斑を生じる場合がある <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後出芽前, 薬量150mL/10aでの効果, 薬害の確認 ・播種後出芽前, 散布水量100L/10aでの効果・薬害の確認 ・小麦出芽直前~揃期での効果, 薬害の確認 ・小麦1~3葉期, 薬量100mL/10aでの除草効果の確認 ・小麦1~3葉期, 散布水量100L/10aでの年次変動の確認
9. KUH-165 フロアブル ジフルフェニカン:7.4% ピロキサスルホン:7.4% [クミアイ化学工業]	小麦 (春播)	発生前の一年生雑草を対象とした小麦播種後出芽前での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目, 年次変動の確認, イヌビエ, シロザの効果確認)	実	<p>実)</p> <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦播種後~小麦3葉期, 雑草発生始期まで(スズメノカタビラは2葉期まで) ・80~120mL <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・北海道 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヌビエ, シロザには効果が劣る
	小麦 (春播)	発生前~始期の一年生雑草を対象とした小麦出芽揃期での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目, 年次変動の確認, イヌビエ, シロザの効果確認)		
	小麦 (春播)	春播き小麦における発生始期までの一年生雑草を対象とした小麦1~3葉期での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目, 年次変動の確認, イヌビエ, シロザの効果確認)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
10. KUH-209 乳 ジメテナミドP:7.2% ピロキサスルホン:1.2% リニュロン:9.6% [クミアイ化学工業]	大豆	発生前の一年生雑草を対象とした,大豆播種後出芽前での土壌処理(全面)による基礎活性の確認と秋田主要品種への安全性の確認(秋田県1年目)。	実	実) [一年生雑草] ・大豆播種後出芽前,雑草発生前 ・300~500mL <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 注) ・大豆の茎長が短くなる場合がある(北海道)
11. MBH-135 乳 フルチアセットメチ ル:2.0% [丸和バイオケミカル]	大豆	生育期(草丈10cm以下)の一年生広葉雑草を対象とした大豆5葉期~開花期での茎葉処理(畦間・株間)による適用性の検討(北海道:適用性初年目)	実・継	実) [一年生広葉雑草] ・大豆2~4葉期,雑草生育期(草丈10cm以下) ・30~50mL<散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・東北以南 ・大豆5葉期~開花前,雑草生育期(草丈10cm以下) ・30~50mL<散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・東北以南 注) ・シロザ, ヒユ科, ナス科の優占圃場で使用する ・キク科, カヤツリグサ科には効果劣る ・処理時に展開していた葉に褐斑を生じ,生育が遅れる場合がある 継) ・有効草種についての確認 ・大豆1~3葉期処理での効果,薬害の確認(北海道) ・大豆初生葉~1葉期,雑草発生前期~草丈10cmでの効果,薬害の確認(東北以南) ・大豆5葉期~開花前の畦間・株間処理での効果・薬害の確認(北海道)
12. MBH-2003 水和 メタミトロン:35.0% レナシル:40.0% [丸和バイオケミカル]	てんさい (直播)	発生始期の一年生雑草を対象としたてんさい(直播)の本葉2葉期での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性2年目)	実・継	実) [一年生雑草] ・てんさい本葉2葉期 ・200~300g <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 注) ・イヌビエには効果が劣る ・生育の進んだ雑草には効果が劣る場合がある ・展着剤を加用する 継) ・150gにおける効果・薬害の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
12. MBH-2003 水 つづき	てんさい (移植)	発生始期の一年生雑草を対象としたてんさい移植後での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目)	実・継	実) [一年生雑草] ・移植後, 雑草発生始期 ・200~300g <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌(砂土を除く) ・全域 注) ・イヌビエには効果が劣る ・展着剤を加用する 継) ・150gにおける効果・薬害の確認
13. NFH-131 液 (IFMRS-195) グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [ニューファム]	かんしょ	生育期の一年生雑草を対象とした, かんしょ生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
14. NH-007 フロアブル グリホサートイソプロピ ルアミン塩:30.0% ピラフルフェンエチ ル:0.16% [日本農薬]	大豆	生育期(草丈1m以下)のアレチウリを対象とした耕起または播種10日以前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(未確認草種への除草効果および処理時期の検討, 2年目)	実・継	実) [一年生雑草] ・耕起または播種10日以前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・400~600mL <散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・大豆播種後出芽前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・400~600mL <散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 ・大豆生育期, 雑草生育期 ・400~600mL <散布水量100L>/10a ・茎葉処理(全面) ・全土壌 注) ・作物にかからないよう散布する ・雑草の草丈30cmまでの時期に散布する 継) ・播種後出芽前処理での年次変動の確認(東北以南) ・多年生雑草に対する効果の確認(東北以南) ・アレチウリに対する効果・薬害の確認(耕起または播種10日以前)
15. S-604 乳 クレトジム:24.0% [アリスタライフサイエ ンス]	そば	3~5葉期のイネ科雑草を対象としたそば生育期の茎葉処理(全面)による作用性の検討(北海道:作用性)	継	継) ・効果・薬害の確認
	そば	3~5葉期のイネ科雑草を対象としたそば生育期の茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:適用性初年目)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
16. アラクロール 乳 アラクロール:43% [日産化学]	さとうきび (春植え)	さとうきび(春植)の植付後雑草発生 前処理における適用性の検討(草種拡 大(カワリバトウダイ)初年目)	実・継	実) [春植え;一年生雑草] ・植付後,雑草発生前 ・400~600mL <散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) ・全土壌 ・全域 注) ・イネ科雑草優占圃場で使用する ・ツノアイアシに対しては効果がない 継) ・効果・葉害の確認(カワリバトウダイ(種子発 生))
	さとうきび (株出し)	さとうきび(株出)の萌芽前雑草発生 前処理における適用性の検討(初年 目)	継	継) ・効果・葉害の確認
17. ゲザプリム フロアブル アトラジン:45.0% [シンジェンタジャパン]	さとうきび (春植え)	発生前の一年生雑草を対象としたさ とうきび植付後での土壌処理(全面) による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
	さとうきび (夏植え)	発生前の一年生雑草を対象としたさ とうきび植付後での土壌処理(全面) による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
	さとうきび (株出し)	発生前の一年生雑草を対象としたさ とうきび萌芽前での土壌処理(全面) による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
	さとうきび (春植え)	雑草2葉期までの一年生雑草を対象と したさとうきび植付後での茎葉兼土 壌処理(全面)による適用性の検討(初 年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
	さとうきび (夏植え)	雑草2葉期までの一年生雑草を対象と したさとうきび植付後での茎葉兼土 壌処理(全面)による適用性の検討(初 年目)	—	(試験中)
	さとうきび (株出し)	雑草2葉期までの一年生雑草を対象と したさとうきびでの茎葉兼土壌処理 (全面)による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
18. リニュロン 水和 リニュロン:50.0% [TKI社]	そば	発生前の一年生雑草を対象としたそ ば播種後出芽前での土壌処理(全面) による適用性の検討(北海道:適用性2 年目)	継	継) ・効果・葉害の確認

B. 2022 年度 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AC-263 液 イマザモックスアンモニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	体系処理でのアレチウリへの効果確認	実・継	<p>(実)</p> <p>[一年生広葉雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆出芽直前～本葉1葉期, 雑草発生始期～2葉期 200～300mL <散布水量100L>/10a 茎葉兼土壌処理(全面) 全土壌(砂土を除く) 北海道 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆に縮葉や褐変が生じる場合がある <p>大豆生育期, 雑草2葉期まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 200～300mL <散布水量100L>/10a 茎葉兼土壌処理(畦間) 全土壌(砂土を除く) 北海道 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作物に飛散しないように散布する 体系処理:イネ科雑草対象の土壌処理剤を使用する <p>[一年生雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆出芽揃期～本葉3葉期, 雑草発生始期～2葉期 200～300mL <散布水量100L>/10a 茎葉兼土壌処理(全面) 全土壌(砂土を除く) 東北以南 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆に縮葉や褐変が生じる場合がある <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一年生イネ科雑草に対する効果・葉害の年次変動の確認(東北以南)
2. BAH-2210 液 新規化合物a:211g/L [BASFジャパン]	大豆	生育期の一年生雑草を対象とした大豆生育期の茎葉処理(畦間・株間)による作用性の検討	上記参照	
3. BAH-2211 液 新規化合物a:125g/L [BASFジャパン]	大豆	生育期の一年生雑草を対象とした大豆生育期の茎葉処理(畦間・株間)による作用性の検討	—	(作用性)
4. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	大豆	生育期の一年生雑草を対象とした,大豆収穫前,大豆落葉終期(落葉率80～90%程度)の茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:2年目)	上記参照	
5. S-482 顆粒水和 フルミオキサジン:50% [住友化学]	さとうきび (夏植え)	発生前の一年生広葉雑草を対象とした,夏植え栽培におけるさとうきび植付後萌芽前での土壌処理(全面)による適用性の検討(初年目)	実・継	<p>(実)</p> <p>[一年生広葉雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> 10g <散布水量100L>/10a さとうきび植付後萌芽前, 雑草発生前 土壌処理(全面) 全土壌(砂土を除く) 全域 <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果・葉害の確認(5g)

C. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. HSW-2101 乳 フルミオキサジン:1.0% (2023年6月26日表示変更) [ホクサン]	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉繁茂期の1回処理による、茎葉枯凋効果の検討(北海道:適用性初年目)	実・継	実) [茎葉枯凋促進効果] ・茎葉黄変期(1回処理) ・300~500mL <100L>/10a ・茎葉散布 ・北海道 継) ・効果・薬害の確認 (茎葉繁茂期処理(1回および2回))
	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉繁茂期の2回処理による、茎葉枯凋効果の検討(北海道:適用性初年目)		
	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉黄変期の1回処理による、茎葉枯凋効果の検討(北海道:適用性2年目)		
2. OAT-1220 液 植物由来成分A:a% [OATアグリオ]	ばれいし よ	着蕾期の茎葉散布による増収および品質向上の検討(北海道:作用性)	—	(作用性)
	ばれいし よ	着蕾期の茎葉散布による増収および品質向上の検討(東北以南:作用性)		
	ばれいし よ	開花期の茎葉散布による増収および品質向上の検討(北海道:作用性)		
	ばれいし よ	開花期の茎葉散布による増収および品質向上の検討(東北以南:作用性)		
	ばれいし よ	植付50日後の茎葉散布による増収および品質向上効果の検討(東北以南:作用性,2月中旬および2月下旬植付け)		
3. SDI-2302 液 ジクワットジプロミド:20% [日本アグロサービス]	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉繁茂期の茎葉散布による枯凋効果の検討(東北以南:適用性初年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉黄変期の茎葉散布による枯凋効果の検討(東北以南:作用性)		

D. 2022 年度 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. HSW-2101 乳 フルミオキサジン:10g/L (2022年6月24日公開) [ホクサン]	ばれいし よ	ばれいしよ茎葉黄変期の1回処理による、茎葉枯凋効果の検討(北海道)	上記 参照	

2023 年度草地飼料作関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. NC-622 液 グリホサートカリウム 塩:48% [日産化学]	牧草	草地更新を目的とした最終刈取後における多年生広葉雑草に対する適用性の検討(草種拡大, 東北以南:3年目)	実・継	実) [草地更新; リードカナリーグラス] ・ 耕起前年, 2 番草刈取後 雑草生育期(草丈 20~50cm) ・ 500~1000mL/10a <50~100L/10a (散布水量 50L/10a は専用ノズル使用)> ・ 茎葉処理(全面) 注) ・ 2番草の刈取りは8月中旬までに行う [草地更新; シバムギ] ・ 1 番草刈取後, 雑草生育期(草丈 20~50cm) ・ 500~1000mL/10a <50~100L/10a (散布水量 50L/10a は専用ノズル使用)> ・ 茎葉処理(全面) 継) ・ ギンギシ, ワルナスビに対する効果・薬害の 確認
	2. NFH-131 液 (IFMRS-195) グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [ニューファム]	牧草		牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生雑草を対象とした耕起前の茎葉処理(全面)による適用性の検討(北海道:3年目)
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生雑草を対象とした耕起前の茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:2年目)		
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の多年生雑草を対象とした耕起前の茎葉処理(全面)による適用性の検討(北海道:初年目)		
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生および多年生雑草を対象とした耕起整地後, 播種播種10日前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(北海道:初年目)		
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生および多年生雑草を対象とした耕起整地後, 播種播種10日前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:2年目)		
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生および多年生雑草を対象とした耕起整地後, 播種当日での茎葉処理(全面)による適用性の検討(北海道:初年目)		
	牧草	牧野・草地(更新・造成)における生育期の一年生および多年生雑草を対象とした耕起整地後, 播種当日での茎葉処理(全面)による適用性の検討(東北以南:2年目)		

B. 2022 年度 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. NC-622 液 グリホサートカリウム 塩:48% [日産化学]	牧草	草地更新を目的とした最終刈取後における多年生広葉雑草に対する適用性の検討(草種拡大, 東北以南:2年目)	上記 参照	